

当社の製品をご利用いただき、誠にありがとうございます。  
本製品を使用する前に、この取扱説明書を注意深くお読みいただき、正しい操作手順を把握してください。

**注意:**

本機器を使用する前に、この取扱説明書を注意深くお読みください。不適切な操作はユーザーに危害をもたらす可能性がありますので、取扱説明書に従い、コネクタ周りの絶縁に特に注意して、感電や個人への傷害を防いでください。

**1. 製品特長**

- タイプK/J/T測定を4つのチャンネルで表示
- 温度単位を°C/°Fから切り替え可能
- データホールド、最大値、最小値測定機能付
- 自動電源オフ機能付（無効化可能）
- PC接続によるリアルタイムデータ記録、リアルタイムデータシートとデータチャートの表示可能
- データシートとチャートのエクスポートおよび印刷可能
- PCソフトウェアはWin7、Win8、Win10、Win11に対応しています
- 各チャンネルごとに上限/下限値を個別に設定可能
- 聴覚および視覚の警告機能付
- バッテリー残量表示

**QRコードをスキャンして**

さまざまな言語のユーザーマニュアルとソフトウェアをダウンロードしてください。

使用法のチュートリアル動画があります。

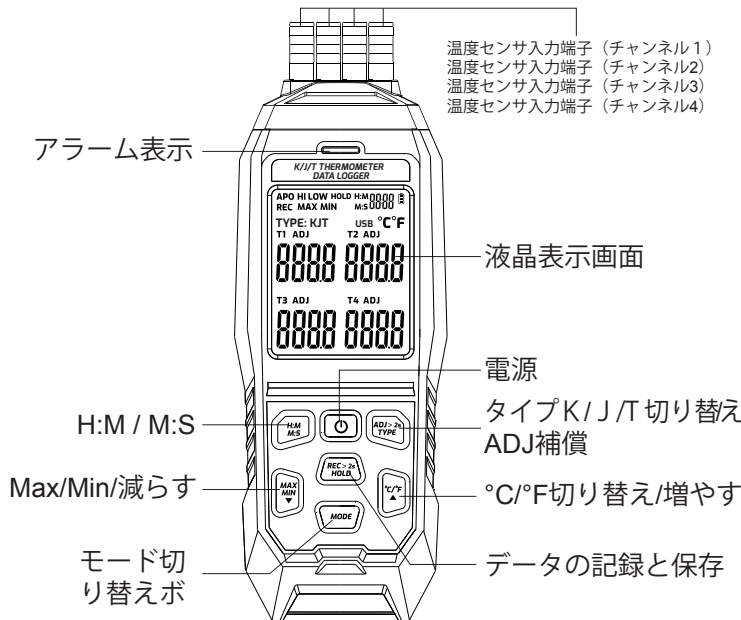
さらにサポートが必要ですか？ お問い合わせください。

[www.cd50.net/37](http://www.cd50.net/37)

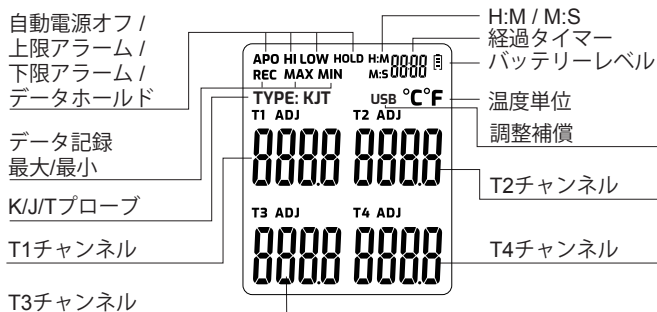
**2. 製品規格**

メインユニット	測定範囲	タイプK: -200~1372°C (-328~2501°F) タイプJ: -200~1200°C (-328~2192°F) タイプT: -200~400°C (-328~752°F)
	測定精度	±0.2%+0.7°C
付属のType Kプローブ	測定範囲	-50°C~300°C (-58°F~572°F)
	測定精度	±1.5%
解像度		(-99~999.9°) 0.1°C/°F; (-200~-100°, ≥1000°) 1°C/°F
アラーム上限値		デフォルト値: 1300°C
アラーム下限値		デフォルト値: -200°C
ADJ補償		-9.9~+9.9°C プローブ誤差範囲補正
データロガー		5000 グループ
三脚ナット		1/4 インチナット
サンプリングレート		1 回/秒
自動電源オフ		15 分
動作環境		-10~50°C, 最大80% RH, 室内の高度<2000m
保管環境		-10~50°C, 最大70% RH, (電池を取り外した場合)
製品サイズ		177 x 70 x 35mm
スクリーンサイズ		53 x 44mm
重量		約189g (電池を抜き)
電源		1.5V単三電池 x 3本 またはMicro USBDC 5V入力
同梱品		1 x 温度計
		4 x K熱電対
		3 x 単三電池
		1 x USBケーブル
		1 x キャリングバッグ

**3. 計器の説明**





**4. DESCRIZIONE DEL DISPLAY**





## 5. ボタン機能の説明

 電源ボタン  
ボタンを押して計器の電源をオン/オフできます。


 **REC > 2s / HOLD**  
a. ボタンを押して表示されている読み取り値を凍結/解除できます。  
b. ボタンを2秒以上長押しすると、記録を開始/停止できます。

 **°C / °F INCREASE**  
a. ボタンを押して°C / °Fを選択できます。  
b. 設定モードでは、ボタンを押して数値を増やせます。




 **MAX / MIN / DECREASE**  
a. ボタンを押して、最大値、最小値、およびリアルタイム値モードを切り替えられます。  
b. 設定モードでは、ボタンを押して数値を減らせます。



 **H:M / M:S**  
a. レコーディングモードでは、時間の経過を示すフォーマットを時間 (H:M) と分、秒 (M:S) の切り替えるためにボタンを押すことができます。

ノート:H:Mの最小時間間隔は1分であり、M:Sの場合は5秒です。





 **ADJ > 2s / TYPE**  
a. ボタンを押してタイプK、JとTを切り替えられます。  
b. ボタンを2秒以上長押しすると、温度補償モードに入る/出る。

### 7-2. 計器内の保存データを表示する





測定モードで、 ボタンを2回押すとデータ表示モードに入り、LCD画面の右上にグループ数インジケータが表示されます。 または  ボタンを押してデータを1つずつ表示できます。

注: 保存されたデータをクリアするには、データ表示モードで  ボタンと  ボタンを同時に2秒以上長押しします。グループの数は0000と表示されます。

### 7-3. 上限アラームの設定

測定モードで、 ボタンを3回押すと上限値設定に入ります。上限アラーム値のデフォルト値は1300°Cなり、 または  ボタンでアラーム値を調整できます。このモードでは、再度  ボタンを押すとチャンネルを切り替えることができます。測定値が設定された上限値を超えると、計器は可聴および可視のアラーム発し、画面に「HI」のサインが点滅します。

### 7-4. 下限アラームの設定






測定モードで、画面が「LOW」のアイコンが表示されるまで  ボタンを連続で押してください。デフォルト値は-200°Cで、 または  ボタンでアラーム値を調整できます。このモードでは、再度  ボタンを押すとチャンネルを切り替えることができます。この機器は、測定値が設定値を下回ると、可聴および視覚的なアラームを鳴らし、画面にLOWの表示が点滅します。

注意: アラームの上限/下限値は、電源を切ったりバッテリーを交換しても保存されます。

## MODE




- ボタンを押して、サンプリング間隔、保存されたデータの表示、アラーム上限/下限値の設定を切り替えられます。
- ボタンを2秒以上長押しして、設定を終了できます。

## 6. 一般の測定手順



- 単三電池3本を取り付けた後、 ボタンを押して計器の電源を入れてください。
-  ボタンを押して、希望する温度センサータイプK、J、またはTを選択します。
-  ボタンを押して、温度単位を°Cまたは°Fに選択します。
- タイプK、J、またはTのプロープを「T1、T2、T3、T4」入力ソケットに挿入します。LCDは4つのチャンネルの温度値を同時に表示します。  
\*特定のチャンネルに温度プロープを挿入しない場合、関連するチャンネルの表示はオーバーレンジ ("----") となります。
-  ボタンを押すと表示されている読み取り値を凍結/解除でき、 ボタンを押して最大値および最小値を確認できます。

## 7. 設定モード

### 7-1. 計器の記録のためのサンプリング間隔の設定






測定モードで、 ボタンを1回押すとサンプリング間隔の設定に入ります。 または  ボタンを押して、希望するサンプリングレートを選択できます。利用可能な設定は、5秒、10秒、30秒、60秒、30分、60分、12時間、および24時間になります。

## 8. 自動電源オフ機能の無効化/有効化

- 自動電源オフ機能はデフォルトで有効になっており、計器をオンにすると画面に「APO」のアイコンが表示されます。15分間使用しないと、自動で電源を切ります。
- 自動電源オフを無効にするには: デバイスを起動する前に、 と  ボタンを同時に3秒以上長押しして、画面に「APo OFF」のアイコンが表示されるまで待ちます。自動電源オフ機能を無効にした後、「APO」シンボルは消えます。

注意: 自動電源オフ機能は、計器を再起動すると復元されます。

## 9. 温度補償機能

- 測定モードで、 ボタンを2秒以上長押ししてCH1の温度調整モードに入ります。
-  ボタンまたは  ボタンを押して、希望のオフセット値に調整します。
- このモードでは、 ボタンを再度押してチャンネルを切り替えます。
- 他のチャンネルについてもbの手順を繰り返します。
-  ボタンを2秒以上長押しして保存し、終了します。

## 10. データログとPCインターフェース

### 10-1. データ記録の種類

ソフトウェア上のデータログ: データポイントの数が無制限でソフトウェアに自動的にデータを記録します。

計器上のデータログ: プッシュボタンを押すことで、計器に最大**5000**の測定値を自動的に記録します。

## 10-2. ソフトウェア上のデータログ

a. ソフトウェアをインストール。QRコードまたはこちらのURLから「EnvironmentalTester」ソフトウェアを無料でダウンロードしてインストールしてください。

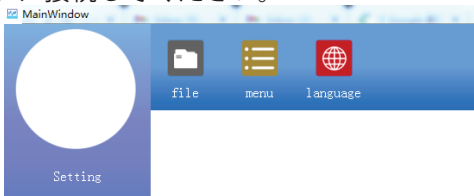


QR コード

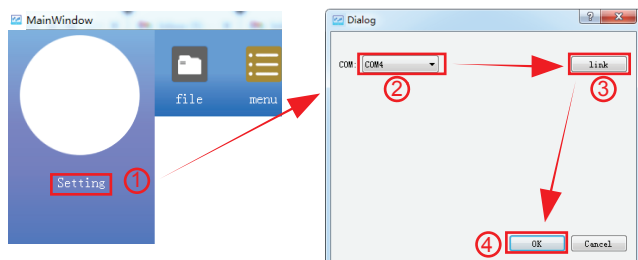
www.cd50.net/37

URL

b. 「EnvironmentalTester」をダブルクリックして開き、セットに含まれるUSBケーブルを使用して熱電対温度計をコンピュータに接続してください。

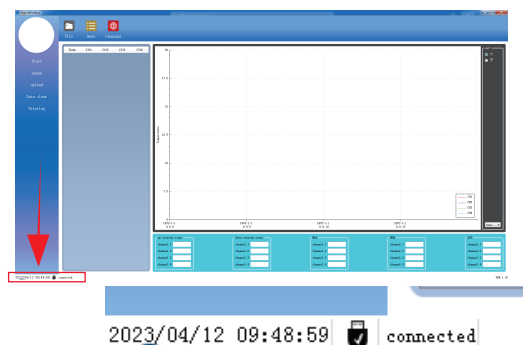


c. 「Setting」をクリックして対応するCOMポートを選択し、「link」をクリックしてから「OK」をクリックして確認してください。

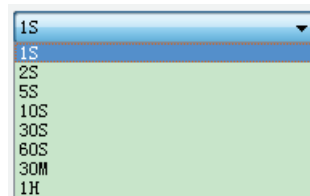
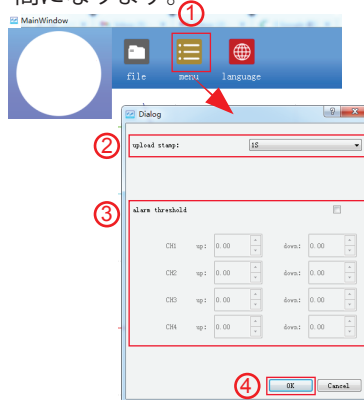


8

d. 使用準備ができると、ソフトウェアのインターフェースがこちらのように表示されます。



e. パラメータを設定してください。ソフトウェアの上部にあるメニューボタンをクリックすると、ダイアログ画面が表示され、そこで所望のサンプリングレートとアラームしきい値を選択し、「OK」をクリックして確認してください。利用可能な設定は1秒、2秒、5秒、10秒、30秒、60秒、30分、1時間になります。



ここで指定されたパラメータは、ソフトウェアシステム内でのデータ記録のために構成され、計器と自動的に同期するように構成されていません。

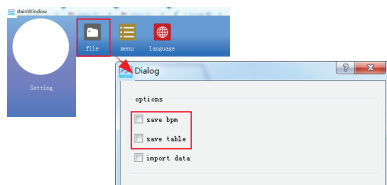
9

f. ソフトウェアの右上隅から、希望の温度単位を選択してください。



g. ソフトウェアの左側にある「Start/pause」ボタンを押して記録を開始/停止します。

h. データポイントをエクスポートするには、ソフトウェアの上部にある「file」ボタンをクリックし、bpmまたはtableまたはその両方の形式で保存するように選択してください。



注意!!!

データソフトウェアに記録されたデータポイントの損失を防ぐためには、プログラムを終了する前または計器に保存されたデータポイントをアップロードする前にそれらをエクスポートする必要があります。これを怠ると、ソフトウェア内のすべての記録されたデータポイントが削除されます。

## 10-3. 計器上でのデータ記録

- a.7-1 でサンプリングレートを設定してください。
- b. **REC-HOLD** ボタンを2秒以上長押しすると記録を開始/停止できます。記録モードでは「REC」のシンボルが点滅します。
- c. ソフトウェアを実行してから、熱電対温度計をUSBケーブルでコンピュータに接続してください（10-2のステップb~dを参照）。

10

d. アップロードをクリックし、数秒待機すると、計器に保存されたデータポイントがソフトウェアに同期されます。



e. データポイントをエクスポートするには、ソフトウェアの上部にある「file」ボタンをクリックし、bpmまたはtableまたはその両方の形式で保存するように選択してください。

## 11. バッテリーの交換

- a. バッテリー残量が低いと、空のバッテリーアイコンが表示され、バッテリーを交換する必要があることを示します。
- b. バッテリーを交換するには、以下の手順に従ってください。
  1. 電池室のカバーを取り外してください。
  2. 電池を取り出してください。
  3. 新しい電池を電池室に入れる際には、電池の極性に注意してください。
- c. 交換後は、電池室のカバーをしっかりと固定してください。

## 12. メンテナンス

- 高温多湿の環境で長時間測定しないでください。
- 長期間使用しない場合は、バッテリーを取り外してください。
- デバイスが正常に動作せず、修理がメーカーや販売業者によって確認された場合、ユーザーはテキストの故障説明と梱包リストを提供し、梱包は適切にクッション材で保護されている必要があります。

11